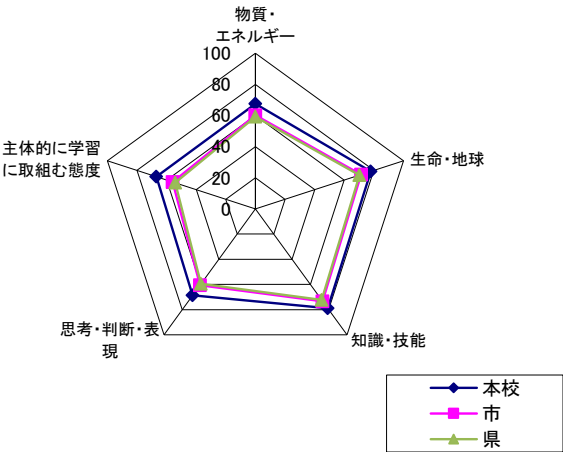


宇都宮市立富士見小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	67.5	60.2	59.2
	生命・地球	77.9	71.3	70.3
観点	知識・技能	78.9	73.4	72.3
	思考・判断・表現	68.6	60.6	59.6
	主体的に学習に取り組む態度	66.9	55.9	54.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	○本領域の平均正答率は67.5%で、県の正答率を8.3ポイント上回った。 ○「ソーラークッカーで料理ができる理由を説明することができる」の平均正答率は59.0%で、県の平均正答率を15.4ポイント上回った。 ○「実験の結果から、物の形を変えても重さは変わらないことを考察することができる」の平均正答率は79.0%で、県の平均正答率を13.5ポイント上回った。 ○「磁石が物を引きつける力は、磁石と物の距離によって変わること推測することができる」の平均正答率は66.7%で、県の平均正答率を14.5ポイント上回った。 ●「糸電話の糸をつまむと音が伝わらない理由を説明することができる」の平均正答率は48.6%で、県の平均正答率を1.6ポイント下回った。	・ほぼ全ての設問で県の平均正答率を上回り、理解していることが分かる。理科に関する基本的な知識はしっかりと身に付いていると思われるので、今後も継続して基礎・基本を押さえながらさらに発展的な問題についても指導していく。 ・身近なものの中で磁石につく物とつかない物などさまざまな教材を用意することにより、生活と結び付けて考えられるように指導していく。 ・音の性質の学習では、糸電話を一人一人作成して実験し、糸の振動と音との関係を体験しながら指導していく。
生命・地球	○本領域の平均正答率は77.9%で、県の正答率を7.6ポイント上回った。 ○「モンシロチョウがキャベツの葉にたまごをうむ理由を説明することができる」の平均正答率は72.4%で、県の平均正答率を13.2ポイント上回った。 ○「ダンゴムシの体の特徴から、ダンゴムシが昆虫かどうかを判断し、その理由を説明することができる」の平均正答率は84.8%で、県の平均正答率を14.3ポイント上回った。 ○「虫めがねの正しい使い方を身に付けている」の平均正答率は63.8%で、県の平均正答率を12.9ポイント上回った。 ●「記録カードの内容をもとに、共通点や差異点を見いだすことができる」の平均正答率は76.2%で、県の平均正答率を0.4ポイント下回った。	・ほぼ全ての設問で県の平均正答率を上回り、理解していることが分かる。理科に関する基本的な知識はしっかりと身に付いていると思われるので、今後も継続して基礎・基本を押さえながら、さらに発展的な問題についても指導していく。 ・「太陽と地面の様子」では、方位磁針の正しい使い方を身に付け、時間とともに太陽が動き、かげの動きが太陽とは反対になるということから、かげの動きを推測できるよう、かげも動いていくことを記録をもとに考えられるように指導していく。 ・観察カードの書き方では、細かいところまでしっかり見て、比べる観点をはっきりさせて記入するよう指導をしていく。